

## 事業計画書

記入例

団体名 せんと地域自治連合会

1. 事業名	SNSを通じた情報発信事業、情報収集支援事業			
2. 事業の目的	せんと地域自治連合会の公式LINEや、TwitterといったSNSを活用し、地域の情報等を発信することで地域住民の安全・安心な生活のサポートや地域イベントの活性化を図る。併せて、高齢者等にSNS等で生活に必要な情報を収集する力をつけていただくことで、情報格差の是正を図る。			
3. 事業の内容				
(1) 日時	令和5年8月1日～令和6年3月31日			
(2) 場所				
(3) 対象者	せんと地域住民等			
(4) 内容	<p>自治連合会公式SNSによる情報発信と情報収集の支援のための講座開催 連合会公式LINEとTwitterの立ち上げと県内の大学、地域の事業者及びNPOと連携して、地域住民の生活に役立つ情報や地域のイベント情報の発信を行う。(大学生と連携し、情報発信のコンテンツの見せ方等を検討、事業所、NPOからは、発信する情報の提供を受ける。)</p> <p>また、高齢者等向けにSNS等による情報収集のための講座を県内大学と連携して開催することで、情報格差の是正を目指す。</p> <p>○連携団体：県内の大学、地域の事業所、まちづくりNPO ○発信する情報：地域の防犯・防災情報、高齢者等の健康に役立つ情報、地域のイベント情報、連合会や構成自治会の取組等 ○講座の開催日時：令和5年11月～12月の間で3回程度 ○講座の参加者：地域住民、1回当たり15名程度 ○講師等：携帯電話会社社員、県内大学生（講師補助）</p>			
(5) 連携する団体及び役割分担		連携団体等	役割分担	新たな連携 (該当するものに○をつけてください)
	1	平城京大学	情報発信について助言、学生の派遣	○
	2	(株) 遷都福祉事業所	高齢者の健康に役立つ情報等の提供	○
	3	NPO白虎まちづくり	地域のイベントの情報等の提供	
	4			
	5			
	6			
	7			
4. 連携によって目指す効果	連携により、自治連合会単独では実現が難しい、SNSでの情報発信や多様な情報の発信により、地域住民に必要な情報を迅速に届けることや地域のイベント情報を多くの世代に発信することが可能となる。			
5. 総事業費	625,200 円			
6. 交付申請額	500,000 円			
7. 事業期間	令和5年8月1日 ～令和6年3月31日			
8. スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年8月 SNSアカウント開設、情報発信についての検討会</li> <li>同9月～令和6年3月 地域住民に周知、地域の団体と連携し情報発信</li> <li>令和5年11月～12月 SNSによる情報収集講座開催(3回程度)</li> </ul>			
9. 特記事項 アピールポイント	連携による多様な情報発信に加え、情報の受け手である地域住民の間の情報格差の是正を目指すといった、情報発信から情報の有効活用までを見据えた事業となっている。			

※適宜、資料を添付してください。(任意)

※連携が実現しなかった場合は、事業が実施されても補助対象とはなりませんのでご注意ください。

※枠が足りない場合は、行幅を適宜、広げていただいて記入ください。